

2011年度 第2回 常任幹事会議事録

●日時
2011年8月27日(土)
15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 521号教室

●出席者
秋元圭一〔会長〕
日野高〔副会長〕
甲斐光省〔副会長〕
土橋洋一〔常任〕
三好耕之〔常任〕
桜井裕美〔常任〕
大村政幸〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
白石龍子〔常任〕
小山弘〔常任〕
勝山昌幸〔常任〕
永吉昭浩〔常任〕

●委任欠席(カッコ内→代理人)
西田一成
藤川正美
渡部証明
大野美菜子
富澤和治
下地典子
古屋直子(旧姓 益子)

常任出席者 12名
委任欠席者 7名
(常任幹事19/25名 定足数成立)

●議事進行
議長・進行:秋元圭一

●議事録
書記:久末静香

校正・制作・文責:
秋元圭一・大村政幸

■議題

- 1 各プロジェクトのスケジュールの確認
- 2 その他・意見交換

◎はじめに

出欠確認と会長挨拶のあと、前回議事録の確認が行われ、第1回常任幹事会議事録は、全会一致で承認された。

議題1 各プロジェクトのスケジュールの確認

●同窓会ニュースの内容確認と意見交換

- ★秋元会長から、2011年度同窓会ニュースの見本が配布され、説明があった。
- ・A4で4つ折りとなり、内容は表紙、アサビブリッジプロジェクト・アサビフェスタ・卒業終了展・アサビさんよん会の告知、会務報告、幹事名簿となる。
- ・東日本震災に関して、巻頭の挨拶で触れる。
- ・原稿締切をぎりぎりまで待って調整し、9月20日入稿、9月30日か10月1日に発送を予定している。

★アサビブリッジプロジェクト(以下:ブリッジ)の委員が欠席の為、秋元会長が受け取った企画原稿を元に報告「第10回アサビブリッジセミナー(以下:セミナー)を10/23(日)、講演:桂正和氏、司会:松岡和彦氏、アサビフェスタ内で開催。新企画となる第1回アサビブリッジワーク(以下:ワーク)は11/12(土)、5名の作家による作品のパネル展示と、その場でご本人達と交流できる形で行われる予定。ワークは第1回なので、開催側でもまだ見えない部分があり気になっているとのこと。ワークについては、セミナーのように何時に誰が話すという形でないと参加しにくいし、出展者どう交流できるかが見えないとのことです」これに対し、「人選に関して年間計画はないかと毎回質問しているが、答えがない」「たとえば2年間に4回の1クールで計画を立てた方がよいのではないか」「以前ユニバーサルデザインを提案して合意を得たが、その後話題にならず議事録もなかったので経過や結果がわからなかった」等の意見があり、秋元会長は「提案があった場合は、推薦者に経過がわかるようにしてもらいたい。セミナーに関しては、テラプロとのすみわけもあり、講師陣の協力を得ているとのこと。今回計画を立てるにあたり、当初のスケジュール通りにいかなくなり、講師陣推薦の講演者の調整、同窓会ニュースに載せる原稿の作成、年間計画に関して会議内で出た意見の調整段階でバタついて具現化できず、時間的な問題もあって1年間は目をつむってほしいとのことで、新しい試みのワークでどういう答えが出てくるか、皆さんにも見守っていただきたいとの事です」と答えた。ワークに関して「宣伝に力を入れないといけない」「一人に一部屋でないと、来てもらった人に失礼ではないだろうか」「2時間半という短い時間に区切ってしまうことが気になる。たとえば1週間、学生がいつ来ても展示物を観られたり、ビデオメッセージか何かで質問を受け、本人に回答を得るような形でも取ればまた違うかもしれない」「当日のフローがわかりにくい。決まってから出されても検討のしようがない」「企画している方が加わるのは、自作自演になってしまわないか」などの意見に秋元会長は「企画者ではあるが、クリエイターとしての出品なので問題ないと思う。人選に関して、今回やってみて、反省を踏まえた形でいろいろなアイデアを出して行けるとよい」と答えると「今まで出されてきた意見のまとめも提出しているので、結果論で話し合わないでうまく取り入れていってほしい」との意見が出て、チームへ伝え次年度以降の参考にしようとした。

議題2 その他・意見交換

●アサビさんよん会について、担当の小山氏からの状況報告。

- ・さんよん会の該当者164名中、35名程の参加者を見込んでいる。
- ・名簿整備とハガキ制作が完了し、9月3日発送・24日集計・10月8日開催を予定。
- ・名簿調査:土橋氏・竹島氏・三好氏・西田氏。
- ・当日スタッフ:甲斐氏・大野氏・小山ゆうこ氏・小山弘氏・他を予定。
- ・午後4時30分学校の中庭に集合、午後5時30分より居酒屋で同窓会を予定。

秋元会長は「本来はクラス単位のイベントであるが、アサビ同窓会のテストケースとして、どのくらい関与してどのくらいの予算がかかるのか、スタッフの仕事量がどれくらいか、実績として名簿の更新がどれくらいできるかといった所が大きな要素だと思いますので、皆さんご協力していただければ助かります」と述べ、日野氏が「同窓会ビジネスが発展している中、自分たちでやるというのはすく期待できる良い企画だと思う。いつでも声かけに協力します」と述べた。「学校をやめられている方へは車代を包んであげるとかはどうか」との質問に小山氏は「ご招待という形を取る予定」と答え、「会費制にして、集合写真や名簿配布のサービスをしてはどうか」「同窓会はお膳立ての手助けのみで、参加する人の意志で、みなさんに決めて頂いたり、幹事をしてもらい、盛り上げて頂くというのはいかがでしょうか」等の案が出て、引き続き検討することとした。

●議事録承認についての報告と議案

2009年度第5回常任幹事会より、会議の始めに前回議事録の承認を得て議事録の完成としてきたが、事務局長の大村氏は会則に載っている議事録承認の項目を見逃していた事を謝罪し、議事録承認についての議案(★)を配布。検討され、全会一致で以下の流れ(・)で承認となった。

★幹事会と常任幹事会の議事録は会則に則り、議長および出席者2名以上の署名押印を得て承認としたい。

- ・幹事会の議事録は、常任幹事会とは趣旨が違っているという事で、会則通りの方法を取る。
- ・常任幹事会の議事録は、次回会議で皆の承諾を得て承認されるという方法が、概ね皆の了解を得て実行されており、常任幹事会から反対意見が出る事は矛盾となる為、会則を変える方向。

★委員会の議事録は、これまで議事録という形ではなく、報告書として提出されてきたので、会則にある議事録作成を削除したい。

- ・数名の会議での議事録作成という形は難しいので、会則を変える方向。

●会則検討委員会の甲斐氏より「第14章18条1から4について、幹事会へ仕事に移っているので、幹事会の章へ移動してはどうかという案が出たが、残した方がよいか」との問いかけに、土橋氏が「幹事会は便宜上の方策であり、本来は毎年総会を開かなければいけなくて、予算削減などの便宜上で4年に1度としているので、両方残した方がよい」と述べ、現状維持とする事になった。

次回日程は10月1日 15:00~17:00 という確認をして議会は閉会した。